



No.41

平成28年4月26日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



大島定置網組合の操業状況

Contents

3月定例会	新年度予算の特色	2
委員会審議	新たな人材を非常勤職員として任用	5
一般質問	町政発展の方向は など 6人登壇	8
活動報告	議会傍聴アンケートを実施	14
追 跡	移動販売車の購入補助は	15

前年度比1億1700万円減額
28年度一般会計当初予算

104億9300万円を可決

3月定例会(2月29日～3月23日)では、補正予算や平成28年度予算、農業委員会委員の任命など議案47件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。
また、町政全般について6人が一般質問を行いました。

1

「おい町未来創生戦略」の展開

- ・人口減少を克服するための重点戦略
- ・「女性」「若者」「仕事」等のキーワードを柱に

左ページで
詳細をチェック!

2

大雨等による浸水被害対策の強化

- ・12の2区の本郷棧橋に砂防ゲートを設置し、海水や土砂の進入を防止します。
- ・館地区では、新たな樋門を整備するなど、排水処理機能を高める工事を28年度と29年度の2カ年にかけて施工します。
- ・商工会周辺の浸水被害対策は、一体的な取り組みを行うための調査と基本設計業務に着手します。

3

名田庄地域FTTH網の整備

- ・28年度から光幹線ケーブルの配線工事を実施し、30年度から各家庭への引き込みを行い、順次供用を開始します。

4

企業誘致の促進

- ・産業団地の候補地選定を行っており、今後、地質調査などの予算を計上します。
- ・既存造成地への企業誘致は、県とも連携しながら、引き続き取り組みます。

5

町内の体験型観光スポットの改修

- ・「きのこの森」では、町民の意見をもとに、大規模なリニューアルをハード・ソフトの両面から行います。
- ・「八ヶ峰家族旅行村」では、多目的に利用可能な全天候型施設を中心とした再整備を行います。

町長施策方針

28年度
5つの重点施策
誇れる地域づくりを目指す

キーワードは

おおい町 未来創生戦略

10の施策

女性 若者 仕事

定例会

委員会審議

議案審議結果

一般質問

活動報告

追跡



まるごとジビエ特産事業

シカやイノシシなどの鳥獣の肉を食材として活用し、町のジビエ・ブランドの開発を目指す。

● 46万円 ●



体験農園整備支援事業

休耕田を利用した自然薯のモデル栽培を行い、栽培技術の向上や栽培面積の拡大に弾みをつける。

● 102万円 ●



一次産業 スタート支援事業

新規に就農を行う移住者に対し住居費を助成し、初期費用の負担軽減を図る。

● 32万円 ●



若者出会い交流応援事業

若者自らが企画立案し実施する交流イベント開催の経費を新たに助成し、より多くの出会いの場をつくる。

● 30万円 ●

「お〜い★さかな君」 発掘・育成事業

御食国・若狭を支える大島の漁業を活性化させるとともに、若者の雇用につなげる。

● 13万円 ●

「自然☆女」獲得 大作戦事業

女性が活躍できる場の創出と農業の活性化を図るため、農業に興味のある女性を都会から呼び込み、農業体験を通して雇用や地域住民との交流につなげる。

● 221万円 ●

空き家再生等推進事業

田舎暮らしに興味のある方に空き家を提供し、数日間滞在してもらう「お試し移住制度」を新たに実施する。併せてニーズ調査なども行い、空き家を活用した移住・定住の促進につなげる。

● 65万円 ●

分譲地購入者 住まい支援事業

町民が土地開発公社の分譲する土地を購入し、住宅や事業所などを新築する場合に100万円を助成し、定住促進と地元経済の活性化につなげる。

● 500万円 ●

1J Uターン等 起業促進支援事業

町外在住者を対象に、本町に移住し新たに町内で起業する方に対し、初期投資の一部を助成し、1J・Uターンを促進する。

● 1000万円 ●



グリーン・ツーリズム推進事業

町内の観光スポットを巡る周遊観光プログラムの企画・実践を行い、新たな観光資源の発掘や交流人口の拡大を図る。

● 84万円 ●

※各事業の補助には要件等があります。



慎重に チェック

委員会 審議 (第1回定例会)

総務常任委員会

付託審議内容

定例会で付託された議案10件を審査し、原案のとおり可決した。

●議案12「行政不服審査に関する条例の制定」

お問い合わせ行政不服審査会の設置や運営などに関する事項を新たに定めるもの

■主な質疑

問 不服審査請求があった場合、新しい条例ではどうなるのか。

答 今までは、審査請求されると庁内で検討し回答していた。今後は審査会で協議され回答する。

問 今後、介護認定のことで請求が多くなると思うので、対応を考えておく必要があるのではないかと。

今後、介護認定のことで請求が多くなると思うので、対応を考えておく必要があるのではないかと。

の一部改正

現在、都道府県が指定・指導監督している小規模

答 十分想定される事なので、広域での処理も含め検討していく。

●議案15「特別職の職員及び費用弁償に関する条例の一部改正」

新たに公民館主事、図書館長、図書館司書を受け、その報酬の額を定めるもの。

問 公民館などの組織は、全て非常勤で対応し、出来るだけ地元の方が自主的に運営する事になるのか。

答 参加型の町づくりや民間との連携を十分にとりながら地域の活性化に役立てて行く。

●議案19「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

の一部分改正

指導監督している小規模な通所介護事業を、町が指定・指導監督する地域密着型サービスに位置付けることに伴い、人員などの基準について規定するもの。

■主な質疑

問 新たな法改正によつて整備基準が変更になるが、町の施設の中で実際に変更や、改善をしなければならない事があるのか。

答 楊梅苑にあるデイサービスセンター(つつじ園*)が定員10名で該当する。今は県の指定を受けており、地域密着型になる場合は、みなし指定としてそのまま行えるので、事業所も変える必要はない。

(※大飯デイサービスセンター つつじ園はH28・3・31で事業廃止になりました)

産業建設常任委員会

付託審議内容

定例会で付託された議案1件を審査し、原案のとおり可決した。

●議案21「さきやま会館の設置及び管理に関する条例の一部改正」

冷暖房設備の設置に伴い、同設備の使用料の規定を追加するもの。

■主な質疑

問 これまでエアコンはなかったのか。

答 これまでなかった。昨年8月末に設置した。

問 名田庄の他の施設にならつて料金を設定したとあつたが、総合市民センターとの整合性は。

答 総合市民センターのホール以外の部屋の冷暖房設備を使用する場合は、使用する部屋の使用料金の4割を加算しており、名田庄の他の施設においても同様で、さきやま会館においても使用料金の4割加算が妥当と考える。



さきやま会館

予算決算常任委員会

付託審議内容

定例会で付託された28年度当初予算を審査し、原案のとおり可決した。

主な質疑

歳入

問 ふるさと納税の見込み額が1000万円増となっているが、見込みはあるのか。

答 これまでは県や町の窓口での申込みの受付だったが、インターネットでの受付も追加し、クレジット決済を取り入れるため、十分可能な見込み額である。

問 全国的に経済が疲弊している中、個人町民税の見込み額が減額となっていないが、今後、影響は無いのか。

答 個人の総所得は20年度から26年度にかけて減少していたが、27年度以降から向上きに

なっていると判断している。

問 空き家対策再生推進事業で設置される検討委員会とはどのような組織か。

答 町の空き家状況や、移住定住利活用の検討、助成制度に対する意向など、町の方向性に沿った検討を行う委員会である。

問 施設管理・整備計画

問 こども家族館の運営経費が、町の財政を圧迫しないよう、県に強く要望して行く必要があるのではないか。

答 県の施設であり、修繕の場合の運営側の持ち分と、県の持ち分の見直しも含めて、経費の圧縮に努めながら、

引き続き県に要望して行く。

問 名田庄総合事務所

問 の耐震診断が予算計上されたが、全体の整備計画をし、町民や団体などと協議を進めて行くのか。

答 28年度は耐震診断としたが、今後は周辺の整備を含めて検討を加えて行きたい。

問 大飯清掃センターで大規模な補修工事が行われるが、今後、広域での共同処理が行われるので、最低限の整備で良いのではないか。

答 平成34年度から36年度を目標に焼却施設の広域化を図る計画で、それまで運転するための補修工事である。

問 ながみ診療所の入院部門では、毎年赤字が続くので、入院部門に固執せずに運営することも考えた方が良くないか。

答 町としては、入院部門を整備する方針であったことから、誘致する際に赤字部分は町が負担することとなっている。

問 しかし、地域医療構想では、地域包括ケアシステムに移行し、病床数を減らしていく方向であり、当町としても入院部門や診療部門について、平成29年度から方向性を検討する。

問 介護保険の負担区分調査で、預貯金の確認が必要となったが把握はできているのか。

答 平成27年8月以降、基本的に自己申告であるが通帳を確認

医療・福祉

している。

確認できない場合は、家族同意のもと、金融機関に照会文書を出し、確認することもある。

問 ながみ診療所の医師確保の計画はどのようになっているのか。

答 地域医療振興協会や県に、常勤できる医師の確保を依頼しており、町内出身の医師とも交渉している。

問 農業・漁業

問 耕作放棄地対策事業の国の再利用緊急対策交付金は、採択要件が3つあり、すべてクリアしないと受けられない。

答 町がセットで行っている再利用に係る補助はもつと使いやすいサイズではないか。

問 使いやすい補助制度になるよう、今

後検討して行く。

問 藻場の造成事業は毎年予算計上しているが、魚の繁殖などの調査を行っているのか。

答 平成15年度に事業がスタート。16年度と19年度、24年度に調査を行った結果、魚の繁殖状況を確認しており、効果があると判断している。

問 名田庄商会の経営戦略をコンサルタントに委託したが、どのような結果になったか。

答 財政面・営業面での課題が鮮明になり、従業員の意識改革もできた。

また、自然薯を全面に押し出した事業展開が望ましいとのアドバイスを受けたため、今後の経営戦略に取り入れたい。

■平成28年第1回(3月)定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
承認 1	専決処分の承認を求めることについて (町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認	議案 20	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案 1	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	議案 21	さきやま会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案 2	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	議案 22	平成28年度一般会計予算	原案可決
議案 3	平成27年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決	議案 23	平成28年度後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案 4	平成27年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議案 24	平成28年度国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案 5	平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議案 25	平成28年度国民健康保険診療事業特別会計予算	原案可決
議案 6	平成27年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議案 26	平成28年度介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案 7	平成27年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議案 27	平成28年度介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案 8	平成27年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議案 28	平成28年度簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案 9	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議案 29	平成28年度農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案 10	平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議案 30	平成28年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案 11	平成27年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議案 31	福井県市町総合事務組合規約の変更について	原案可決
議案 12	行政不服審査に関する条例の制定について	原案可決	諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申
議案 13	行政不服審査法施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	原案可決	同意 1	農業委員会委員の任命について	同意
議案 14	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	原案可決	同意 2	農業委員会委員の任命について	同意
議案 15	特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	同意 3	農業委員会委員の任命について	同意
議案 16	体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	同意 4	農業委員会委員の任命について	同意
議案 17	総合町民福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	同意 5	農業委員会委員の任命について	同意
議案 18	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	同意 6	農業委員会委員の任命について	同意
議案 19	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	同意 7	農業委員会委員の任命について	同意
			同意 8	農業委員会委員の任命について	同意
			同意 9	農業委員会委員の任命について	同意
			同意 10	農業委員会委員の任命について	同意
			同意 11	農業委員会委員の任命について	同意
			同意 12	農業委員会委員の任命について	同意
			同意 13	農業委員会委員の任命について	同意
			同意 14	農業委員会委員の任命について	同意
			—	議員派遣報告および議員派遣	報告および派遣

定例会

委員会審議

議案審議結果

一般質問

活動報告

追跡

町政「こ」が聞きたい!

3月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

町政発展の方向付けと各種計画策定の状況は

町長 計画のキーワードは、「女性」「若者」「仕事」



浜上 雄一

問

町長就任以来、町民からの様々な意見や要望、提案などをどのように新年度の政策に反映したのか。

また、総合計画をはじめ、公共施設等総合管理計画、空き家対策計画、企業誘致計画などの仕上げの年となっている。

意を突くような政策に期待しているが現在の進捗状況は。

答

(町長) 「有識者会議」や「若者ワークショップ」等を通じ、

「おい町未来創生戦略」を策定した。この計画の

キーワードは、「女性」「若

者」「仕事」に基づいて具

体的な事業を展開し、将

来的に対応を要するもの

は、概ね基本構想の素案

がまとまりつつある「第

二次おい町総合計画」

で審議する。

公共施設等総合管理計

画は、基礎データの整備

をしており、長期的視点

に立った計画的な管理を

行うための方針を策定す

る。

空き家対策は、町の取

り組み方針などを検討す

る委員会を設置する。

企業誘致は、産業団地

事業計画を踏まえ、最終

的な候補地選定にむけて

調整を進めている。

ラジオが聴取困難

な地帯の解消は

総務課長 国や県に対

策を要請している。

問

災害避難時に情報を得る手段としてはラジオが最も有効であるが、電波の届かない地域があり、対策が必要ではないか。

答

(総務課長) 避難ルートの状況確認と併せて国や県に対策を要請していく。

なお原子力防災制圧・

避難道路は、ラジオ放送

が受信できるよう計画さ

れており、携帯電話につ

いても検討されている。



工事が進む(仮称)新大島トンネル(犬見側)

技術の継承と人材育成について

副町長 人材育成支援や多様な雇用機会も提供

問 生活に欠かせないさまざまな分野における技術や資格の持ち主など、いわゆる、技術の継承や資格取得者などの人材育成は。

また、卓越した技術や資格を持った人材が、就職できるようなさまざまな機会を設けることも大切なことである。

答

(副町長) 産業が健全に発展するためには、人材の育成や技術の継承が必要で、商工会では「従業員等育成支援事業」を行っており、町も支援している。

また、卓越した技術や

資格を持った人材が、就

職できるようなさまざま

な機会を設けることも大

切

国体を町の活性化の起爆剤に

教育長 スポーツ合宿や観光など町の活性化につなげたい

問

福井国体の開催が2年後に迫っているが、選手などの受け入れ準備は。また、この機会を町の活性化の起爆剤に。

答

(教育長) 町を訪れる多くの方々の宿泊や、食事はできる限り町内で賄うことが地元経済の活性化につながるものと考えている。

各分野の専門的事項は町国体実行委員会の専門委員会で詳細な検討・協議を行う。

障がい者スポーツの普及・促進のため、おおい町健康マラソンに車イスの方の参加を認めてはどうか

教育長 参加希望があれば関係者と協議し、参加できるように十分検討していきたい



細川 正博



問 福井県では平成30年に福井しあわせ元気国体・大会が開催されるが、障がい者スポーツの普及が進んでいない。

福井県で総力を挙げて普及・促進に取り組みべきだと思うが、当町ではこの課題に対して、どのように考えているのか。



答 (町長) 町は「しあわせ福井スポーツ協会」に入会し、障がい者スポーツの裾野を広げるために、スポーツ体験

教室や指導員養成講習会の紹介、「おおい町身体障害者福祉協会」が開催する、スポーツ大会などへの支援を行っている。今後とも、障がい者の方がスポーツを通じて社会参加できるように、関連事業の周知や指導員養成講習会などへの参加の呼びかけ、障害者団体への支援の継続などを含め、普及・促進に努めていきたいと考えている。



問 「おおい町身体障害者福祉協会」が開催する、スポーツ大会などへの支援とあるが、本年度の内容はどのようなものか。



答 (介護福祉課長) 協会の活動とし

て、グラウンドゴルフや輪投げ大会などを行い、「福井県障がい者スポーツ大会」にも参加している。その移動費や活動に係る経費への支援を行っている。



問 「しあわせ福井スポーツ協会」が案内する、スポーツ体験教室や指導員養成講習会の紹介を行っているとのことだが、具体的な啓発活動は、また、本年度の問い合わせや案内をした実績はあるのか。



答 (介護福祉課長) 「なごみ」にパンフレットを置いて案内しているが、本年度の問い合わせや紹介した実績はない。



問 全国的に、障害の種類や程度を踏まえた指導者や支援者の確保が急務であると言われる中、啓発活動が弱い。



答 (町長) この課題は広域で取り組む必要もあるのではないかと考えるので、「しあわせ福井スポーツ協会」を通じて、各関係団体と協議をしながら取り組むよう努めたい。



問 おおい町では健常者と障がい者が区別なく参加できるスポーツ大会の開催に至っていないが、その理由や課題をどのように認識しているのか。



答 (町長) 障がい者の方の社会参加を通じて、意見やニーズを

把握するための機会を設け、その中で課題を見つけてクリアできるように努めたい。



問 障がい者の方たちの「生活の質」向上のために、町はどのような取り組みをしているのか。



答 (介護福祉課長) 障害の種類に応じた支援やサービスを行っており、在宅支援・自立支援・就労支援・補助器具などの購入支援・交通に係る経済支援・寝具清掃など、多岐にわたる支援や補助を行い「生活の質」向上のために努力している。



問 おおい町では、障がい児がスポーツに出会える場を提供できているのか。



答 (町長) まだ、できていないのであれば、今後、そのような場を創出するようなことは考えているのか。



答 (生涯学習課長) 障がい児のみのスポーツ教室の開催は現在行っていないが、スポーツ推進委員による活動として、ニユースポーツの出前講座を行っており、子供からお年寄りまで幅広く楽しめるような取り組みを行っているので、そのような場を活用していきたい。



問 毎年秋季に開催される「おおい町健康マラソン」に車イス部門を今年から追加してみたい。



答 (教育長) 安全面を考慮し、記録を競う一般ランナーとの並走は難しいが、チャレンジ走であれば対応は可能かもしれないので、参加希望があれば関係者と協議し、参加できるように十分検討していきたい。



大飯発電所3・4号機の再稼働に対する基本方針は

町長 町民の理解、議会の判断、更に、国・事業者の姿勢、広域避難計画の策定等を踏まえ、総合的に判断



森口 精治

問 大飯発電所3・4号機の再稼働に対する基本方針は。

答 (町長) 原子力発電は、町の基幹産業として必要であり、安全性の確保を最優先に、町民皆様のご理解、議会の判断、更に、国・事業者の姿勢、広域避難計画の策定等を踏まえ、総合的に判断したい。

問 放射性廃棄物と使用済燃料の課題をどのように考えているか。

答 (町長) 使用済燃料は、国の方針、更に、福井県知事の県外での施設整備という要請のもと、事業者において昨年11月に「使用済燃料対策推進計画」を策定されたため、町としては、事業者の取組みと進捗状況を注視していきたい。

次に、放射性廃棄物の低レベル放射性廃棄物は、青森県六ヶ所村の埋設センターに排出し処分が行われており、高レベル放射性廃棄物は、現在、具体的な処分方法が検討されている。

いずれにしても、国の強いリーダーシップのもと、解決に向けた取組みを強力に進めていただく

よう国や事業者に要請していきたい。

問 電源構成比率、県民意識、世論なども考慮したとき、原発の将来をどうあるべきと考えるか。

答 (町長) 原子力政策は、国策です。

国は、エネルギー基本計画で、原発を「重要なベースロード電源」と位置づけている。



関西電力 大飯発電所

原発の将来は、国民理解の促進、再稼働された原発の安全・安定運転、バックエンド等の諸課題の解決及び万一の際の避難計画の実効性向上等が重要で、それらが積み重ねられた上で成り立つものと考えている。

問 規制庁の指摘を受けて発電所は様々な対策を講じているが、発生する仕事について、地元の小売業者への対応策は。

答 (副町長) 新規規制基準による適合性審査に合格するため、土木工事や建築工事等を中心とした安全対策工事がなされているが、定期検査に比べると町内業者が関わられる事に偏りがある。

関西電力及び協力会社に対して、商工会とタイアップしたイベントへの協力や、地元業者活用への更なる要請等を行っていききたい。

基金の管理状況は

会計管理者 約150億円あり今後の運用に万全を期したい

問 現在の基金の管理状況は。

答 (会計管理者) 基金の数は19で、今年度末見込みで150億円余りである。

「公金管理委員会」を設置し、資金管理の方針や運用方針等について審議し、安全でかつ有利な方法で管理を行っており、指定金融機関等で定期性預金で運用している。

本年2月に、日本銀行が行ったマイナス金利政策を受けて市場金利が軒並み低下し、10年国債の利回りが過去最低を更新するなど不安定な動きが続いており、町の基金も

今後、影響が生じてくるものと考えている。

今後とも、金融動向を注視しながら、安全かつ効率的な運用に万全を期したい。

問 基金の有効な活用を図り、人口減少社会への新たな事業に投資する考えはないか。

答 (副町長) 「おい町未来創生戦略」に基づく人口減少問題への取組みは、平成28年度から事業を展開する。

企業誘致や高速通信網など、移住・定住の促進や雇用創出につながるハード整備は、人口減少対策の各種取組みと併せて行うことで、より効果的になると考えており、これらの取組みは、国・県からの補助金はもとより、財政調整基金をはじめとする各種基金なども有効に活用し、進めていきたい。

町の活性化を図るため、同窓生や町出身者との交流を活かした取り組みを行う考えはないか

町長 「おおい町未来創生戦略」を策定する中で議論された結果、「都市交流支援事業」に取り組んでいく



原田 和美

問 「おおい町人口ビジョン」と「おおい町未来創生戦略」が策定された。

今後想定される人口減少対策として、流入人口の増加や町の活性化を図るために、同窓会などのネットワークや交流を活かした取り組みを行う考えはないか。

答 **（町長）** 「未来創生戦略」を策定する

中で種々議論が行われ、創生戦略の「若さ集結！みなぎる活力創生戦略」

の中に「都市交流活動支援事業」を掲げて平成29年度以降に着手してい

く。

また、名田庄出身者の「関東名田庄会」に支援を行っており、同様の活動のモデルとなることを



28年1月に東京で開催された関東名田庄会のごとく

期待している。

問 「都市交流支援事業」は、都市部へ

進学した学生の支援、都市部在住の町出身者や団体との交流、ふるさと情報発信となつていくが、相手方の把握や接触について、具体的な案はできているのか。

答 **（町長）** 現在、イベントサポーター

の募集、新成人や町内のイベント参加者からの情報収集を行っており、また、町外の出身者の会のネットワークなどからの情報収集にも取り組んでいく。

問 同窓会支援による名簿活用や町内の

飲食店利用を条件にした

幹事へのサポート支援は、「創生戦略」の事業展開や、町の商工の活性化にも繋がるのではないか。

答 **（町長）** 町内のサービス業の活性化に有効であると考え

るので、まずは検証を行っていきたい。

問 同年代が集う場を設けることは、U

ターン、出会い、生きがいなどに効果があると思われる。富山県では県が主催して「30歳の同窓会」を開催しているが、同様の取り組みをおおい町で行う考えはないか。

答 **（町長）** 若い人達がふるさとへの絆を無くさず繋がりを持ち

続ける方策として、集まる場を考えることについて町としてどう関係か、検討すべき重要課題だと考えている。

問 名田庄会のような町出身者の会を作ることについて、計画はあるのか。

答 **（町長）** 首都圏で

嶺南出身者が集つてもあり、嶺南一円で取り組みとタイアップすることも考えるべき課題であると捉えている。

問 大飯地域には、仕事の関係で他町から移住された方が既

にたくさんおられる。そういう移住の大先輩や、他町から嫁がれた方等のネットワークを作る考えはないか。

答 **（町長）** 移住の先

駆者である方々から意見をもらうことは重要であると認識している。まず情報を集め、どういった支援の方法が有効であるのかを検討していきたい。

問 行政が同窓会のような個人の繋が

に対して支援することについてどのように考えるか。

答 **（町長）** ふるさとへの愛着を深め、

情報発信を進めるといふ点では、時代に即した新たな取り組みであると認識している。



大飯中学校の同窓会：新聞にも載りました

「グリーン大飯農業公社」の今後の方向性は

町長 地域住民の要請に応えられる組織運営に努める



辻 徹

問

平成15年度から26年度の公社の業務と比較すると受託金額は約1.6倍、その中で担い手農家に委託しているのは半減、委託せずに公社で作業する公社作業は4.5倍と激増している。これは、小規模農家の高齢化による受託の増加や担い手農家の不足が原因であると考えられる。公社は、小規模農家には無くてはならないものであるが、担い手農家育成や農地貸付幹旋事業を公社のみで行うのは無理があるのではないか。事業内容を検討しては。

答

(町長) おおい未来創生戦略において儲かる一次産業という位置づけで事業を展開し

問

たいと思っている。農作物の付加価値化を視野に入れ、しっかりと取り組む。課題については公社と連携し検討していく。



グリーン大飯農業公社

問

公益財団法人グリーン大飯農業公社は正職員2名を3名に増員し、体制を強化した。設立から20年を経て、今後の公社の方向性は。

答

(町長) 今後は、離農者の増加に伴う受託面積の増加が予想されるので、対応できるような体制を整えた。若手農業者の育成や町の農業の活性化など地域住民の要請に応えられる組織運営に努めていきたいと考えている。

答

(農林水産振興課長) 将来的には検討が必要である。高浜町の鳥獣追払の影響は

問

高浜町において鳥獣追払いの委託を受け、来年度以降も継続することのことが、おおい町に逃げてくるのではないかと想像するが、影響があるのでないか。

答

(農林水産振興課長) 高浜町では農地外へ追い出すが、町境界への追払いまではしていないため、ただちに本町まで被害が及ぶと考えると本町では捕獲による個体

問

数抑制を進める。捕獲による個体数抑制という事だがサルも捕獲で対応するの

答

(農林水産振興課長) サルに対する対策はいくつかあるが、捕獲による対応が必要である。本町にはサルの群れが5つあるが、群れの管理が非常に大事で、現在の研究では100頭を超えると群れが分裂して増えると言われており、40頭がちょうどいくらいのことである。オスのボスサルというイメージがあるが、メスの年配のサルが統率しており、そのメスザルを捕獲してしまうと群れがバラバラになり被害が増えると言われている。

答

一つの群れに10頭以上のメスを残すなどの規制



産業団地造成事業の計画、規模・業種は

町長 10分以内。誘致業種を検討



早川 正己

問 産業団地が計画されているが、現在までの企業誘致の取り組み状況は。

答 (町長) 平成26年度に企業誘致対策室を新たに設け、積極的な情報収集や企業訪問などを行っている。

「うみんぴあ大飯」において、わかさ大飯マリンワールド(株)と協働し商業施設を中心に誘致を図っている。

また「名田庄西谷企業誘致用地」においては、県との連携により誘致し

た野菜工場が営業を開始しており、残る用地も誘致が図れるよう取り組んでいる。

今後関係機関と連携し、積極的な誘致活動を展開したい。

問 「うみんぴあ大飯」の企業誘致が遅々として進まない原因は。

答 (町長) 根本的に消費人口、商圏の成立の困難性がある。

大飯発電所の適合性審査が済むと将来、安定的な消費人口が確保される

業イメージも上がるので今後引き続き取り組んでいく。

問 「うみんぴあ大飯」の企業誘致の促進を図るため、誘致企業の業種枠を広げる考えは。

答 (町長) 当初のコンセプトは、賑わいを創出する商業施設がメインであり、現在のところは、コンセプトを変える意志はない。

問 トップセールスについて町長の意気込みは。

答 (町長) 情報を得ながら、企業からの問い合わせや県の情報をもて強気にトップセールスに取り組む。

問 産業団地の整備事業計画を策定中であるが、現段階での誘致業種は。

答 (副町長) 本町に立地した場合の大きなメリットである安価な電気料金や、F T T H

を使つた高速通信網を活用していただける業種。「儲ける一次産業」として農林水産物や加工販売に関連する業種についても検討していきたい。

「新エネ・省エネ関連産業」、「健康長寿産業」、「ICT関連産業」、「物流関連産業」の4業種についても、県との連携の観点から検討していくべきものと考えている。

こうした業種を中心に検討を行い、効率的な誘致活動を進めたい。

問 計画の調整中であつても目標とする整備規模は。

答 (町長) 検討過程で具体的な話せないが、諸々の事情、状況を勘案し10分以内にとどめたい。詳細は、しかるべき時期に報告する。

問 本町の将来人口推移を考慮した就労人口は。

答 (副町長) 先般「おい町人口ビジョン」および「おい町未来創生戦略」を策定した。生産年齢人口は、平成2年をピークに減少を続け平成22年には4893人となつている。



マリンワールドの施設状況

問 計画の調整中であつても目標とする整備規模は。

答 (町長) 検討過程で具体的な話せないが、諸々の事情、状況を勘案し10分以内にとどめたい。詳細は、しかるべき時期に報告する。

問 本町の将来人口推移を考慮した就労人口は。

答 (副町長) 先般「おい町人口ビジョン」および「おい町未来創生戦略」を策定した。生産年齢人口は、平成2年をピークに減少を続け平成22年には4893人となつている。

問 「おい町人口ビジョン」における人口推移予測では、平成31年頃には

約4300人程度になると見込んでいる。

産業団地造成にあつては、今後、就労人口が減少していくことも視野に入れ検討していきたい。

問 「コールセンター」誘致の話があり、断念した経緯を知っているか。

答 (町長) コールセンターで、当時若い人材300人規模を集めることが不可能で断念している。

問 生産人口が年間約100人減少しているが、産業団地の働き手は十分に確保できるのか。

答 (町長) 基本的には目減りしている。生産人口が減っていく中で、適正な規模の産業団地、誘致業種、業態を含めて検討していく。

定例会

委員会審議

議案審議結果

一般質問

活動報告

追跡

原子力発電対策特別委員会活動報告

高浜発電所の自動停止・大飯発電所の審査状況を確認

〔期日〕平成28年3月3日
〔場所〕おおい町役場

2月29日に発生した高浜発電所4号機の原子炉自動停止について、関西電力大飯発電所長より、自動停止の経緯、調査状況、今後の予定などの詳細説明を受けました。

さらに、3月1日に美浜町で発生した^{がし}障子の落下事故等に関し、住民の安全安心について重く受け止め、関西電力の安全に対する徹底を強く要望しました。

また、大飯発電所3・4号機の新規制基準の審査状況、高浜3・4号機の再稼働工程、防災計画、美浜発電所の廃炉協定の概要、電力自由化の概要についても詳細な説明を受け、質疑を行いました。

○主な質疑

問高浜4号機の自動停止について、並列時の電流の遮断は初めでの事象か。

答並列時にリレーが動作したことは初めてであるが、美浜発電所で似た事例はあった。

問大飯発電所の新規規制基準の審査が遅れている理由は。

答施設の安全性についての審査は最終段階までできており、施設に問題があつて審査が長引いているわけではない。技術的能力（安全を守る組織、資格者がいるか等）の基準に適合しているかの審査が残っている状況である。

意見 高浜発電所の原子力自動停止について調査・検証をしっかりと行ってもらいたい。あらゆることを想定したうえで運転に臨んでも

らわなければ、住民に不安を与えることになる。



議会の傍聴アンケートを紹介しします

ご意見をいただきました

おおい町議会では、本会議、全員協議会、各委員会を公開しており、町民の皆さまに傍聴していただいています。

議会の傍聴に見えた皆さんからのご意見を紹介します。

議会への期待、厳しいご意見など、たくさんいただきました。議員一同、真摯に取り組んでまいります。

■一般質問を傍聴されたのご意見（抜粋）

○テレビで見るより臨場感があつて大変良かった。

○質問、答弁とも専門用語が多く、町民の目線に合わない。理解しやすい用語を使って。

← できるだけわかりやすい言葉遣いに努めます。法令引用などはどうしても難しくなってしまうので、質問にも留意いたします。

議会の傍聴アンケートを紹介しします

○一般質問は30分と聞いていたが、オーバーしても制限なく続いていたのはなぜ。

← 理事者の答弁は時間に含まず、議員の質問時間のみを30分としています。

■本会議（最終日）を傍聴されたのご意見（抜粋）

○議場の中に初めて入り、雰囲気を実体験できて良かった。

○町長に対してもう少し積極的な発言及び質問をしてほしい。

← 議案の審議が委員会への付託になる場合は、主な質疑は委員会の場で行われます。各委員会の傍聴にもぜひお越しください。

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

定例会

委員会審議

議案審議結果

一般質問

活動報告

追跡



移動販売車両購入に 支援を

移動販売車両の購入に対し、補助支援を行うべき。

(平成26年12月議会 古石 實 議員)

副町長答弁



町づくりの一環として 支援を検討する

日常生活に必要な食料品等購入の利便を図り、安心して暮らせる町づくりの一環として、移動販売事業が継続できるよう支援を検討する。



どうなった？

事業者に対し費用の 一部を補助

平成27年度予算において補助金を予算化。事業者に対し車両の購入費用の一部について補助を行った。

<利用者の声>

- ・買い物に行けないので、たいへん助かっています。
- ・何でもあるし、車が来るのが待ち遠しいです。



楽しい戦いが繰り広げられたバブル相撲



「スポーツ」で 観光誘客を

運動施設を活用し、スポーツで観光誘客を図るスポーツツーリズムをどう推進するのか。

(平成27年3月議会 辻 徹 議員)

副町長答弁



企業向けのスポーツ プログラムを提案する

プレーパーク大飯を会場に、スポーツを通じて企業が集まる「わかさゲームズ」を開催する予算案を盛り込んでいる。



どうなった？



「若狭路ハッピー スマイル運動会」を開催

プレーパーク大飯に22チーム・430名が参加。バブル相撲などのゲームで交流を満喫。

かがや 輝く人

高齢化が進む漁業に

七人の力強い助っ人



【写真右より】
 松井真一さん(静岡県)
 浅野智昭さん(兵庫県)
 梶川敦史さん(大阪府)
 石塚資之さん(奈良県)
 ※都合により写真撮影でき
 ませんでした
 安藤周平さん(愛媛県)
 伊佐治豊明さん(愛知県)
 吉田英夫さん(京都府)

その昔から、漁業は「板子一枚下は地獄」と揶揄されたように、海難事故と隣り合わせの大変過酷な仕事で、漁獲量等の低迷もあり、11隻の小型底曳き網漁船は7隻にまで減少し、更に、高齢化によって一層減船が進

声をご紹介したく思いま
 すが、紙面の都合上、今
 回は2名の方のお話を要
 約して掲載いたします。

■浅野智昭さん

私が大島に来たのは、
 14年前の5月でした。

以前から、漁師に憧れ
 ていて、求人誌の募集記
 事を見て、大阪で全国合
 同説明会に参加し、越前
 で乗船体験をさせていた
 だくことになりました。
 その後、福井県水産課か
 ら大島の小型底曳き網漁
 船の親方を紹介されまし
 た。

船に乗り初めのころは
 船酔いが酷く、食事が喉
 を通らない日々でした
 が、今では新鮮な取れた
 ての魚を美味しくいただ
 いております。

きつい仕事ですが、頑
 張って行こうと思ってい
 ます。

■吉田英夫さん

平成19年9月、小型底
 曳き網漁船に乗るために
 大島に移住してきました。
 実家が京都にあり、近い

所でと思い、福井県
 漁連に相談して親方
 を紹介してもらいま
 した。

漁師の仕事は朝が
 早いと睡眠不足に
 なり、揺れる船上で
 の肉体労働は想像以
 上に体に堪えませ
 が、幸い私は船酔い
 せずにすみました。

就業当初は、方言
 や漁師言葉などがわ
 らないことが多々あ
 り苦労しました。

また、私は親方が
 昔に民宿をされてい
 たので、運よく住み
 家には苦労しませ
 でしたが、移住者に
 とっては、住まいの
 問題が大きいと思
 います。

*

家を建てる人、住
 宅を買った人、漁船
 を買った人、家族で
 借家住まいの人、と
 様々ですが、皆さん
 夢を持って輝いてい
 ます。(浜上記)

議会の傍聴に来てみませんか

行政ポイント
 対象です 10P

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。
 次回の定例会は6月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-4060)までお問い合わせください。

6月定例会
 の予定

会 期：6月3日から22日まで(20日間)
 本会議：3日(議案提案理由説明)、15日(一般質問)、22日(採決)
 委員会：予算決算委員会(3日)、総務・産業建設委員会(6日)、原子力特別委員会(8日)

●編集後記

春風が心地よいこの頃、希
 望に胸を膨らませた初々しい
 新入生の子供たちが、小さな
 体に大きなランドセルを背
 負って通学する姿を見て微笑
 ましく思います。いつ見ても
 可愛いですね。

つつい我が子の時の事を
 思い出します。
 さて3月議会は平成28年度
 当初予算が上程され、全体予
 算135億余円が可決されま
 した。

「おおい町未来創生戦略」
 に基づいた重点施策が沢山盛
 り込まれた内容の編集となり
 ました。

大飯発電所の再稼働等、注
 視することが多い年度になろ
 うかと思えます。

最後に、議会の各常任委員
 会も傍聴していただけますの
 で気軽に来場を…。

(早川記)

広報特別委員会

委員長	猿橋 啓一
副委員長	浜上 雄一
委員	藤原 義隆
〃	早川 正己
〃	原田 和美
〃	細川 正博